

## 授業一部公開

### 「文化資源と地域再生(アゴラセミナー I B)」

- ・この授業は、大阪府立大学と和歌山大学が共同で開講する授業です。
- ・社会人の方は、岸和田サテライトの学部開放授業(平成30年度前期)「色彩デザイン論」の受講者に限り、下記の【授業計画】の一部を聴講することができます。
- ・聴講希望者は、学部開放授業「色彩デザイン論」の聴講申請書(8ページまたは9ページ)の該当欄に✓を記入して申請してください。(希望者が定員20名を超えた場合は抽選で聴講者を決定します。結果は学部開放授業受講通知に同封してお知らせします。)

授業科目名 (英文表記)	文化資源と地域再生 (アゴラセミナー I B) (Culture heritage and community regeneration (Agora seminar 1B))		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	西田 正宏・田中 宗博・前川 真行 (大阪府立大学) 菊川 恵三・大橋 直義 (和歌山大学)		
開講	岸和田サテライト	区分	「わかやま学」科目
聴講可能な 時限	8月8日(水) 3・4限 8月9日(木) 1・2・3・4限 8月10日(金) 1・2・3・4限 (1限 9:30~11:00/2限 11:10~12:40/3限 13:40~15:10/4限 15:20~16:50)		
<p><b>【授業の概要・ねらい】</b></p> <p>関西には、多くの文化資源が残っている。古墳や城などの建造物と言うまでもなく、各地に伝わる伝承を記した碑や、寺社もそうであろう。説話や物語あるいは名所図会のような文献に残されたこともまた「文化資源」と考えられるだろう。これら「文化資源」は、はたして、その地域を再生するために有効にはたらくであろうか。あるいは有効にはたらかせるためには、どのような方法が考えられるであろうか。以上のような視点から、さまざまな文化資源を取り上げ、その内実を知るとともに、その有効性について考察する。</p> <p><b>【授業計画】</b>(聴講は下線の時限のみ可能です。ご注意ください。)</p> <p>8月8日(水) 1限 ガイダンス (西田) 2限 自己紹介とディスカッション(地域と自分とのかかわり) (前川・西田) <u>3・4限 西国三十三箇所順礼1300年—関西の文化・観光資源として (大橋)</u></p> <p>8月9日(木) <u>1・2限 万葉集の勝地をめぐって(仮) (菊川)</u> <u>3・4限 まちをあるく視点(仮) (前川)</u></p> <p>8月10日(金) <u>1・2限 説話の地域性(仮) (田中)</u> <u>3・4限 いわゆる「名所図会」は地域再生に有効な視点を提供するか (西田)</u></p> <p>ただし、発表とまとめは、8月後半に行う。その日程については、未定(できるだけ早い時期に公表)。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <p>関西のさまざまな文化資源についての知見を深め、それを活用する提案ができるようになることを目標とする。</p> <p><b>【教科書】</b></p> <p>授業中に適宜資料を配付します。必要な参考書・参考文献等は教員が指示します。</p>			